広報伊方町

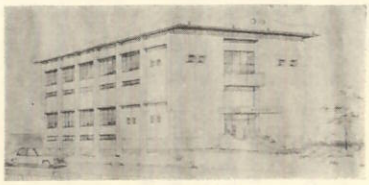
発行所 愛媛県西宇和郡 伊方町
編集 町長公室
印刷所 尾上印刷所 八幡浜市天神通 電話(0894)

伊方武道館建設はじまる

工事費一億七百万円 駐車場も完備

伊方武道館の建設工事がはじまりました。

工事費一億七百万円、設計管理費四百四十四万円、剣道防具購入費五十八万円を含めますと事業費は一億一千二十二万円になります



完成予想図

建物は鉄筋コンクリート造りで地下一階、地上二階建、延床面積は一千六十三・六八平方メートルになります。

地下一階には、普通乗用車が二十台収容できる駐車場が設けられます。

地上一階は剣道場、玄関、男女更衣室、シャワー室、湯沸室、トイレ。二階は柔道場（タタミ百二十八畳敷）、更衣室からなっています。

この伊方武道館は、町見武道館についで建設されるもので、施設の特徴は前記しましたように、地下駐車場を整備するほか、柔剣道場ともに更衣室を設けることです。

また、町見武道館に設置されている柔道場の観覧席は伊方武道館には、ありませんが、そのかわりに更衣室を設置するものです。

柔道、剣道は、日本古来の武道として伝統あるもので、特に柔道はオリンピック種目にもなり、世界各国で普及されています。

伊方武道館が完成すれば、県下町村では類のない、立派な武道館が二つもできあがるわけです。

今まで、こうした施設、指導者がいない理由もあってか、本町の柔剣道の愛好者は、他町に比較して多いとはいえず、こんど柔剣道人口の底辺拡大のためにも、地域で、学校で、この施設を有意義に活用してほしいものです。

完成は二月末です

伊方武道館の完成は、二月末です。現在、基礎工事が行われており、コンクリートパイル（直径三十五センチメートル）を深さ二十五メートル地点まで六十四カ所打込み強固な地盤に仕上げます。

ジーゼルハンマー高も高らかに建設工事がはじまりました

川永田二改良住宅が完成

＝15世帯入居＝

昨年十月から建設工事を進めていました川永田二小集落地区改良住宅が完成しました。

鉄筋コンクリート三階建、各階五戸入居で十五戸が入居。

一戸当りの広さは、六十六平方メートル（二十坪）で和室六畳二室、四・五畳一室、台所キッチン、ベランダ、風呂、トイレからなっています。

また、広場には遊園地をつくり砂場、ブランコ、スベリ台、シーソーなどが整備されました。

建設工事費八千七百一万円、用地買収費二千五百二十七万円、事務的経費四百九十二万円を含めますと総事業費一億一千七百二十万円になります。

風通しの良い明るいモダンな住宅が建設されました。

秋の陽光をいっぱいに浴び、立派な住宅ができあがりました

「新川荘」と命名

この川永田二改良住宅が伊方新川近くに建設されているのにちなみ「新川荘」と命名されました。

なお、この川永田二改良住宅「新川荘」建設工事費八千七百一万円のうち、建設資金として、郵便局の簡易保険積立金から二千六百十万円融資を受けています。

改正された農業者年金

二度と期待出来ない救済措置

農業後継者であり、農業者年金の加入時期を逸し、加入できなかった方は、昭和五十四年限りで、一定の要件に該当する場合には、加入できるよう救済措置が講ぜられました。

◎救済される後継者は

つぎの一～五までに掲げる要件のすべてに該当する人です。

あなたがこれに該当するか、調べてみてください。

一、大正八年七月三日から昭和十五年一月一日までの間に生まれた人。

二、一に該当する人は、まず上記の表で、あなたの「基準日」を調べてください。

さて、あなたの基準日に、あなたの父母、祖父母又は養父母が自分名義の五十アール以上の農地等の農業経営主であったかどうか。

つぎに、これに該当する場合に、あなたは、基準日までに引き続き三年以上、農業に従事していたかどうか。

三、この救済措置による加入を申し出る日に、つぎの要件も満たしていること。

①六十才未満であること。

②親が農地の権利名義をもつ農業経営主である場合には、親から農業の後継者として措置された人であること。

③加入申出日に親がもう農業経営主でなくなっている（農業をやめた、死亡など）場合には、基準日に親が耕作していた、親名義の農地などのうち、二分の一を越える部分について、申し出る人が権利をもち、農業経営主となっていること。

四、基準日から、申し出日まで引き続き国民年金の被保険者であること。

五、以上一から四までに該当していれば通常の場合には、加入救済を申し出る資格がありますが、つぎの場合には資格がなくなります。

①農業者年金から、任意脱退をしたことがある

②基準日から申し出日までの間を計算の基礎とした、脱退一金時の支給を受けたことがある。

◎加入申し出などの手続きは

加入の申し出が出来る期間は、七月一日から十二月三十一日までの六カ月間です。この期間内に農協の窓口で手続きをしてください

◎くわしくは農業委員会、農協で

年金をもらうにはまず加入することが大切であり 今が加入のチャンスです。ほかに細かい手続きなどが決められていますから、農業委員会、農協に気軽に相談され、資格のある人は、是非加入されるようおすすめします。

区分	基準日
大正8年7月3日～大正9年1月1日生まれ	昭和49年7月1日
大正9年1月2日～昭和11年1月1日生まれ	昭和50年1月1日
昭和11年1月2日～昭和12年1月1日生まれ	昭和51年1月1日
昭和12年1月2日～昭和13年1月1日生まれ	昭和52年1月1日
昭和13年1月2日～昭和14年1月1日生まれ	昭和53年1月1日
昭和14年1月2日～昭和15年1月1日生まれ	昭和54年1月1日

〔保険料納付済期間別の年金額〕

（昭和54年7月1日現在）

年金給付額（年額） ＼ 保険料納付済期間		5年の場合	10年の場合	15年の場合	20年の場合
60～64歳	経営移譲年金	376,600円	502,100円	627,600円	753,200円
65歳以後	経営移譲年金	37,700円	50,200円	62,800円	75,300円
	農業者老齢年金	47,100円	94,100円	141,200円	188,300円
	計	84,800円	144,300円	204,000円	263,600円

（注）①このたびの救済措置による特例納付金が納付された期間は、保険料納付済期間に算入されます。

②年金給付額は、物価の変動に応じて自動的に改定（物価スライド）されることになっています。

③65歳以後は、このほかに国民年金の給付があります。

衆議院議員選挙

最高裁判所裁判官国民審査

投票日は十月七日

今回、衆議院の解散による総選挙が、九月十七日に公示され、十月七日（日）投票が行われることになりました。また、最高裁判所裁判官国民審査も同時に行われます。

たいせつな一票です。無効や投票をしなかったり、忘れることのないようにしましょう。

この選挙に投票出来る人

満二十歳以上になると選挙権がありますが、町の選挙人名簿に登録されていないと投票することが出来ません。

こんどの選挙人名簿に登録されている人は

①昭和三十四年九月二日以前に生まれた人

②昭和五十四年六月一日までに伊方町に住所を定め、同日までに住民票の届出手続きをした人です。

「不在者投票」は前日まで

不在者投票の期間は、九月十七日から十月六日までの午前八時三十分から午後五時まで、役場または町見支所で投票出来ます。

なお、日曜、祝祭日も受付けます。

選挙人名簿登録者

六、二四三人

（九月一日現在）

その他、くわしいことは選町挙管理委員会へおたずねください。

国民年金の還元融資で

道路新設など八事業完成

国民年金の還元融資を利用し昭和五十三年度も、下表のような事業が完成しました。

この国民年金還元融資は、国民年金加入者のみなさんが納められた保険料を資金として、町がいろいろな事業を進めるため、借り入れているものです。

これは、みなさんが積立てられた国民年金が、私たちの生活環境整備や保育所、児童遊園などの建設に役立っているということです。

国民年金積立金還元融資借り入れ額

事業名	借り入れ額
川永田成安線新設事業	万円 1,260
川永田二下水排水路改良事業	160
奥中道線改良事業	80
湊浦二農道舗装事業	30
向下水排水路改良事業	60
九町奥子供の広場新設事業	550
中浦児童遊園移転事業	340
豊之浦保育所運動場拡張事業	220
計	2,700

老人福祉週間

"生きがい"づくりはみんなの手で

家庭での役割分担を決める

九月十五日は「敬老の日」。また、この日から一週間は「老人福祉週間」。

お年寄りは、これまで永年にわたって社会に貢献してこられました。長寿を心からお祝いするとともに、今後も今日までつちかってきた知識と経験を社会に役立てていただきたいものです。

こうしたことが、お年寄りの生きがいになると同時に、世代を越えた新しいコミュニケーションの場にもなるのではないでしょうか。

老人に生きがいのある社会を共に築いていきたいものです。

お年寄りに心の張りを

――そのおばあちゃんは、毎朝掃除をすることが、家庭の中での自分の役割と考え、何よりの生きがいと感じていました。

ところが、ある日お嫁さんが「そんなこと、しなくていい」と、掃除機を取り上げてしまったその日から、おばあちゃんは強度の便秘に悩まされ、とうとう寝こんでしまいました。それが、また掃除をさせてもらうようになったら、ウソのように便秘は治ったというのです。

――ある農家のできごと、農繁期でネコの手も借りたいほどの忙しいとき、その家の老人は何かの役に立ちたいと田んぼに出て行ったのですが、「邪魔になるから、引っ込んでいて」といわれ、明くる朝、自殺を試みたということです。

「何もしないで、ジッとしていればいいのよ」という言葉ぐらい、お年寄りにとって残酷な言葉はありません。

のけ者にされないこと、つまり自分は役に立つ存在であるという自信と、自分のことは自分でやれるという気負いが、日々お年寄りの心の張り、生きるバネになっているのです。

家庭では、お年寄りの役割り分担をみんなで考えましょう。お年寄りは自分の役割を通して、家族との接点をもち、生きがいを見いだしていくのです。

いつまでも　お元気で

ことしもお年寄り番付をつくってみました。男子の横綱は川口寅吉さん（二見）、女子は岡田ヤツさん（川永田）です。特に岡田さんは町内最高齢の97歳です。地域別のトップは湊浦の８人。

これからもますますお元気で楽しい日々をすごしてください。

勧進元　伊方町　**お年寄り番付**　昭和54年9月10日現在調

東方（男）				西方（女）			
位置	氏名	年齢	住所	位置	氏名	年齢	住所
横綱	川口　寅吉	92	二見	横綱	岡田　ヤツ	97	川永田一
大関	田中　大吉	92	湊浦	大関	渡辺　コト	94	河内
関脇	佐々木道太郎	90	湊浦	関脇	樫尾　シン	93	加周
小結	中元　若松	90	仁田之浜	小結	高橋　セイ	93	古屋敷
前頭	木戸源太郎	89	河内	前頭	井上　トミ	93	豊之浦
〃2	井田与之平	89	須賀	〃2	川内ハツノ	92	向
〃3	阿部　甚助	88	川永田一	〃3	佐々木サノ	92	湊浦
〃4	松岡惣之丈	88	湊浦	〃4	高橋フジエ	92	田之浦
〃5	大沢　萬吉	88	奥	〃5	古田　夕子	92	田之浦
〃6	由井太郎吉	87	仁田之浜	〃6	久保　タヨ	91	大成
〃7	井田　与市	86	畑	〃7	脇田マスヨ	90	須賀
〃8	兵頭秋三郎	86	伊方越	〃8	古田ミドリ	90	大成
〃9	二宮元五郎	86	畑	〃9	酒井　マキ	90	伊方越
〃10	菊池幸三郎	86	中之浜	〃10	市末　ミワ	89	小中浦
〃11	政木　喜八	86	湊浦	〃11	上田　シナ	89	鳥津
〃12	高内　鶴市	86	久保	〃12	神野イセヨ	89	湊浦
〃13	松岡愛治郎	86	湊浦	〃13	田中シズカ	89	湊浦
〃14	上島　竹松	86	加周	〃14	小泉　ミヤ	89	川永田二
〃15	青木松之助	86	小中浦	〃15	大星タナヨ	89	川永田一
〃16	永本勘太郎	85	大浜	〃16	岩井チドリ	89	小中浦

※紙面の都合で男女ともにベスト20位までの人を紹介しました。
（満年齢）

高齢者訪問

こんにちは!!

お年寄り番付の中からベストスリーのおじいちゃん、おばあちゃん宅を訪問し、インタビューを行いました。

西方大関
渡辺コトさん
（河内）94歳

西方横綱
岡田ヤツさん
（川永田）97歳

百歳を目さして　時には電話にも出る

多少耳が遠くなったそうだが、家の中は自分で動き、時々は電話にも出られる元気さ。

嫌いな食べ物がないと言われるだけあって、血色が良く、顔のしわが少ない、隣近所の人に百歳まで生きると話されるそうです。

世間話しが楽しみ

河内の自宅（公民館附近）から役場までなら、歩いて行き帰りする元気の良さ。

これといって悪いところはないそうで、なによりも友人と話しをするのが楽しみで、これが生きがいとか、メガネをかければ小仕事、糸とおしも出来るそうです。

東方関脇
佐々木道太郎さん
（湊浦）90歳

西方関脇
樫尾シンさん
（加周）93歳

今でも読書

横になって休んでいることが嫌いで、身のまわりのこと洗たく、そうじから畑仕事までなんでも自分でする。

耳が少し遠いだけで、メガネなしで新聞を読んだり、雨の日などはり仕事をしたり、今でも読書が好きとのことでした。

のんびり魚つり

メガネなしで新聞を毎日読む、テレビは野球、相撲などスポーツ番組が大好き、選手の名前やルールも良く知っている。

食べ物はおもちが好き、夏と冬は別にして、さおをかついでのんびり魚つりをして、楽しく過ごすとのことでした。

東方横綱
川口寅吉さん
（二見）92歳

東方大関
田中大吉さん
（湊浦）92歳

畑仕事が日課　テレビは時代劇

毎朝、お茶とミルクを飲み、朝夕二時間ほどは畑仕事に出かける、規則正しい生活ぶり。

テレビは時代劇が好きで、新聞は毎日読んでおられる。耳は近いし、歩く姿からもとても九十二歳には見えない元気さに驚きました。

タバコが大好き

テレビは浪曲と相撲、タバコが好きで一日に十本は必ず口にする愛煙家、規則正しい食事をし、くよくよしない生活。

また、夫婦ともにお元気で、仲がよく、奥さん（田中シズカさん）も八十九歳で番付入りするなど、夫婦では町内で一番のおしどり長寿です。

日常生活での楽しみは、テレビを見ることが一番多く、おじいちゃん、おばあちゃんともに相撲好きのかたが多いようでした。

一番思い出に残っていることはの問いには、やはり明治、大正、昭和と生きてこられた苦労話しがほとんどで、楽しい思い出よりつらかったことの方が多いようで、あまり思い出したくないようです。

また、食事は好き嫌いなく、規則正しくとることが、共通した長生きの秘けつのようです。

どのおじいちゃん、おばあちゃんとも、高齢とは思えない元気な姿に驚きました。

今回はつぎの六名の紹介をします。

晴れの金婚式

おしどり夫婦が十七組

結婚してから五十年、今年金婚式を迎えられた、おしどり夫婦が町内に十七組（作年は十六組）あります。

お互いに手をとりあって、仲むつましくくらされたことでしょう。おめでとうございます。

町から記念品として、金盃とお祝状を贈りました。

竹村管一・ヨリヨ（中之浜）
二宮行雄・芳子（中之浜）
菊池勇雄・サトミ（河内）
藤堂豊造・ミヤヨ（河内）
中田熊治郎・キヌ（湊浦）
山下日吉・マサヲ（湊浦）
赤家部憂治郎・春江（小中浦）
渡辺　豊・イトエ（小中浦）
松下善治・トミヨ（川永田）
渡辺勘太郎・リサコ（豊之浦）
石上源一郎・タツ子（畑）
田丸喜代久・コマエ（畑）
畑山里盛・シゲヨ（畑）
山本正義・ハルエ（畑）
須賀中銀太郎・トミヨ（須賀）
古田清七・ナルミ（田之浦）
上田親春・ハツ子（鳥津）

米寿（かずえ年）（八十八歳）

今年、かずえて八十八歳（明治二十五年生まれ）を迎え「米寿」になられたおじいちゃん、おばあちゃんおめでとうございます。

県知事から木盃、町から赤座布団とお祝い状を記念に贈りました。

今年はつぎの十人（昨年は十四人）の方々です。

宮崎チヨノ（大浜）
井上　スエ（湊浦）
青山　ノエ（中浦）
兵頭秋三郎（伊方越）
上田　タニ（豊之浦）
井田　与市（畑）
二宮元五郎（畑）
脇田　ハツ（久保）
根来　ヤイ（西）
塩崎　力子（大成）

市右衛門の偉業をたたえ

百五十年供養祭

伊方騒動（藩政時代の百姓一揆の首謀者として、中浦住人市右衛門が処刑されてから、ことしが丁度、百五十年忌にあたります。

そこで中浦部落が世話役となり、市右衛門百五十年供養祭が、お盆の八月十六日、伊方小学校校庭で行われました。

当日は、伊方地区盆踊り大会でもある関係上、午後七時三十分から供養祭がはじまり、中浦部落の人達をはじめ各種団体長、また各部落から参加していた踊り子たちの）の首謀者として、中浦住人市右衛門が処刑されてから、ことしが約二百五十人が参列、法通寺住職による読経のあと、供養祭「祭詞」を供養祭協賛会長の高月教育長が読みあげ、子孫の田中健さんをはじめ参列者が焼香をして、故人の偉業をたたえるとともにいつまでも福をお祈りしました。

このあと、供養の盆踊り大会が催され、町内より婦人会、青年団、小中学生など、約三百名の踊り子が、そろいのゆかたや、趣向をこらしたハッピ姿で、盛大な盆踊り大会となりました。

また、市右衛門百五十年協賛会、伊方盆唄保存会、伊方民謡愛好会などが、市右衛門賛歌伊方盆唄の詞を町内から募集し、その入選作、振り付けの発表が同夜盆踊り大会の席上行われました。

市右衛門賛歌の入選作はつぎのとおりです。

故人のめい福を祈る

市右衛門賛歌

伊方盆唄

伊方屋の清盛さまよ
黒島（おき）を眺めてよおいやな
出右衛（やま）こえ一揆の浦人
霧の河原にむしろばた
みんなたたえた市右衛門さんを
手拍子揃えてサノサッサ

湊浦　三浦　勲さん

のりのおやまのなぎの木かな

ちりて世に出る市右衛門
どうしはげまし庄屋をいさめ
伊方守った市右衛門
とわにたたえよふるさとづくり

今日も見ている市右衛門

湊浦　木戸フミコさん

夜の長いは庄屋のせいよ
世明け恋しや伊方浦
ほらの貝吹けみんな立ちあがれ
むしろばたふる市右衛門
やぐら太鼓に昔を偲び
みんな輪になる盆踊り

仁田之浜　川上輝幸さん

伊方騒動と市右衛門

文政十三年の春（西暦一八三〇年）、一郷結束して、庄屋の非道をあげて、大洲藩へ出訴した中浦住人、市右衛門ら約八百人は、肱川河原で野宿、庄屋父子厳罰を宇和島藩に取り次がれるよう嘆願した。

その首謀者として、市右衛門は天保二年（旧暦）十一月二十七日（西暦一八三一年）宇和島藩の刑場で五十二才の生涯を閉じた。

遺体は早船で送られ、多勢の浦人達の涙のうちに迎えられて法通寺に永遠の眠りについた。浦人達は市右衛門の功績をしのび法通寺境内に墓碑を建立している。

◇　◇

墓碑は、昭和四十一年三月二十六日、町の文化財（史跡）に指定されている。

ポンプ操法競技大会

優勝……四年連続十三分団（向）

伊方町消防団（池田六郎団長）主催のポンプ操法競技大会が、八月二十六日伊方中学校グランドで開催されました。（写真）

当日は、可搬動力ポンプの部と自動車ポンプの部にわかれて行われ、可搬動力ポンプの部では、第十三分団（向）が四年連続優勝に輝きました。

なお、自動車ポンプの部では、町見自動車班（九町）が五年連続優勝し、町見自動車班が結成されて以来、連続優勝となりました。

このポンプ操法競技大会は、消防団員の消防技術の向上と士気の高揚を図り、強固な消防精神を養い、行動の迅速適正をはかるとともに火災防ぎょの万全を期するため、毎年夏の恒例行事として行われているものです。

大会の成績はつぎのとおりです。

◎可搬動力ポンプの部

優勝　第十三分団（向）
二位　第十五分団（西）
三位　第十四分団（東）
四位　第八分団（川永田）
五位　第七分団（中浦）
六位　第三分団（仁田之浜）

◎自動車ポンプの部

優勝　町見自動車班（九町）
二位　第五分団（湊浦）
三位　第十七分団（加周、古屋敷、田之浦）

また、可搬の部の上位二チームが九月二日、伊方中学校グランドで行われた、八西消防操法大会に出場しました。

可搬の部では、第十五分団（西）が第三位、自動車ポンプの部でも、町見自動車班が第三位に入賞しました。

杜氏組合〈夏期講習会 定例総会 開く

組合長に 西平氏

今年で六十四回の伝統を誇る、西宇和郡杜氏組合主催の夏期酒造講習会が、八月二十一日、二十二日の二日間、伊方町農協会館で開催されました。

講習会は、高松国税局から、坂本鑑定官室長ら七名の講師を迎え酒造りの基礎、もろみ、こうじの作り方、貯蔵と出荷管理などの技術的なことや、酒税法などの法的なことについて行われ、七十二名が受講しました。

また、あわせて昭和五十三年度の西宇和郡杜氏組合総会が開催され、新年度の事業計画の承認、役員改選などが行われました。

役員改選の結果、田中善吉氏（仁田之浜）が退任、新組合長に西平寿衛氏（川永田）が就任しました。田中前組合長は、昭和三十四年から、連続二十年間組合長の要職を務められ、伊方杜氏の技術向上と育成に尽力されました。

新役員は次の方々で、任期は二年間です。

組合長	西平寿衛	（川永田）
副組合長	上田益男	（大浜）
〃	井上道孝	（中浦）
理事	上田文男	（西）
〃	寺谷松義	（仁田之浜）
〃	小笠原一夫	（中浦）
〃	阿部吉雄	（川永田）
〃	坂本守	（小中浦）
〃	崎野唯男	（伊方越）
〃	浜田孝志	（大浜）
〃	大村昭男	（保内町）
〃	菊池甚一	（湊浦）
監事	矢野順三	（中浦）
〃	清水房一	（小中浦）

カメラリポート

伊方スポーツ少年団 県大会で優勝！

県スポーツ少年大会（県教育委員会などの主催）が8月5日、北条青少年スポーツセンターで開催され、ソフトボールなど七競技が行われました。

ソレトボールの部では、県下から65チームが参加、8ブロックに別れて熱戦が繰り広げられ、伊方スポーツ少年団チームがブロック別でみごと優勝の栄誉に輝きました。

水ケ浦小児童 通学路を清掃！

夏休み中の、8月24日水ケ浦小児童が中之浜から大浜までの通学路の清掃を行いました。

高岸や草木が多いため、手伝いを買って出たおかあさんも加わり、昼近くまで汗を流しました。

きれいになった通学路、事故のないように祈ります。

体力づくり

ゆっくり走ろう

「歩く」、「走る」――だれもが知っているこれらの基本運動が最近改めて見直されています。単なる流行としてではなく〝健康、体力づくりの最良の妙薬〟としてです。なかでも人気を呼んでいるのがジョッギングです。

ジョッギングとは、もともと「そっと押す」とか「ゆっくり進む」という意味ですが、体力づくりの上では「全身の力をぬいて、ゆっくり走ること」とされています。そのスピードはおしゃべりしながら走る程度で、スピードやタイムを競うものではありません。あくまでマイペースで、あせらず、ゆっくり――これが基本なのです。

マラソンとの違い

マラソンは、四十二・一九五キロをいかに速く走るかと言う「競争」に対し、体力づくりが目的で走る場合は、勝敗や記録を争うわけではありませんから、マラソンというよりは単にランニングといえます。

このような、健康、体力づくりのためのランニングは、マラソンと区別する意味で、ジョッギングと呼ばれています。自分の体力やコンディションを無視して、しゃにむに走っては、体のためにはよくありません、体力づくりはジョッギングで――をお忘れなく。

家庭の医療

スリ傷の手当て

スポーツの秋――運動会のシーズンです。転んだり、すべったりして、スリ傷をつくる子供がふえます。適切な処置をしましょう。

△出血のぐあいを見る▽

軽いスリ傷で、傷口から血がにじみ出ている程度なら、毛細血管からの出血ですから、放っておいても血は自然に固まって止まります。傷が深く血が止まらないときは、ガーゼなどで傷口をおさえて近くの医師へ

△傷口の消毒▽

傷口から細菌が入らないように、ドロなどはきれいな水でよく洗い流してください。

傷口にはオキシドールをたらし消毒ガーゼまたは脱脂綿でアワをおさえるようにしてふきとり、そのあと、傷口の周りはヨードチンキなどをつけて消毒します。

△傷口の手当て▽

傷口には軟膏類をぬり、消毒ガーゼか、清潔な布を当てて包帯を巻きます。小さな傷なら、救急バンソコウが便利です。

またトゲなどが深くささった時は、ぬいたあとをそのままにしておきますと、破傷風などにかかる恐れがありますから、医師の治療を受けましょう。

母と子の会話

お年寄りと孫の教育

お年寄りにとって、孫ほどいとおしく、かわいいものはありません。老後の楽しみの一つは、孫の世話をし、成長を見守ることです。このようなお年寄りの心理を、周囲は十分くみとってあげることが大切です。

「昔と今は時代が違うから、よけいな口出ししないで」とばかり、育児にしても、しつけにしても、いっさい口出しをさせないというのは、考えものです。

確かに、退屈しのぎにネコかわいがりするような態度は、好ましくありません。

また、お年寄りがかまいすぎて、甘やかしてしまいますと、子供はわがままになり、時には反抗的になって乱暴をはたらくような性格になることがあるといわれます。

このような場合は、親がいくら子供を厳しくしつけようとしても、空回りに終わってしまうことが多いでしょう。そうならないためにも、母親は〝けじめをつけた孫のしつけ〟をしてもらうよう、お年寄りとじっくり話し合うことが大切です。

つまり、育児・しつけは親の責任であると考え、お年寄りには家庭教育の一端としてのよき協力者、よきアドバイザーになってもらう――こういう役割分担〟について話し合ってみるのもいいでしょう。

おじいさん、おばあさんは文字通り人生の先輩です。お年寄りの知恵と経験を家庭教育に生かすことは、子供の将来に大きなプラスになるでしょう。また、そうした親子三代にわたる家庭での触れ合いが、お年寄り自身の生きがいにもつながっていくのではないでしょうか。

秋の全国交通安全運動

子供とお年寄りを守ろう

▼子供と老人の事故防止
▼自転車および原動機付き自転車の安全利用の促進
▼安全運転の確保とシートベルト着用推進

今年も九月二十一日から三十日までの十日間、秋の全国交通安全運動が繰り広げられます。今年に入って交通事故で亡くなった方は、六月末日で三千九百二十三人（全国）、昨年の同じ時期に比べて、二百十二人（五・一％）減っていますが、交通事故の発生件数および負傷者の数は逆に増えているのが特徴です。

また、亡くなった方では、相変わらず子供とお年寄りが多く、原動機付き自転車の事故による死者も含めて、道路交通の上で"弱い立場"にある人々の犠牲が目立っています。

こうした死亡事故の原因をドライバーの側から見ますと「スピード違反」をトップに「わき見運転」「酒酔い運転」と続き、この事故です。

傾向はここ数年まったく変わっていません。このようなスピードへの慣れや、ちょっとした油断など運動が繰り広げられまきちんと実践してこそ、「事故のない明るい社会」への第一歩といえるでしょう。

ドライバーとしての基本的事柄を

とのような背景から、今年は、

の三項目を重点テーマに、国民総ぐるみで秋の全国交通安全運動が行われます。

原動機付自転車の死亡事故が増えています

全身で風を切って走る――この快適さはバイクならではのものです。

なかでも、五〇cc以下の原動機付き自転車の人気は高く、保有台数も全国で約七百万台と全バイクの七割以上を占め、最近では女性ドライバーの増加が目立ちます。

ところが、こうした"バイク人気"とともに増えているのが交通事故に乗れる半面、四輪車と違って全身が常に外部にさらされていますので、ひとたび事故を起こすと取り返しのつかない事態を招くことが多いのです。

交通事故全体の死者数は、昭和四十五年をピークに減ってきていますが、原動機付き自転車による死者数だけは、毎年わずかずつながら増え続けています。

原動機付き自転車は、女性も手

◎法定速度を守ろう
原動機付き自転車は、時速三十キロ以上で走ってはいけません。
◎他の車から見えやすいところを走ろう
車体が小さいために、大型車の運転席からは"死角"に入りやすいので、注意しましょう。
◎ヘルメットをかぶろう
自動二輪車による死亡事故の七二％は、頭部損傷によるものです。
◎交差点では減速を
事故の約三割は、交差点での出合いがしらに起きています。

町内には、約七百五十台の原動機付き自転車が登録してあり、増加の傾向にあります。運転には次の点を十分注意しましょう。

◎交差点では減速を
事故の約三割は、交差点での出合いがしらに起きています。

この人　この趣味

No. 3

石印づくり

野田諦忍（たいにん）さん（西）

美しい作品は、心静かな生活の中から生まれます

「この人、この趣味」の三人目は、九町、高野山三宝寺の住職、野田諦忍さん（四十二歳）を紹介します。

野田さんの趣味は「石印」づくりです。以前から木に文字を彫ったり、茶道に使う茶しゃくを作ったりしていましたが、五年ほど前に、石印を作る面白さを知人から聞き、参考書をたよりに見様見まねで始めたそうです。その後専門家の教えを受けて、本格的に取り組み、自分なりに満足のいく作品が出来るようになった頃、以前からの知り合いで、広島の北条門さんにプレゼントしたところ「すばらしい印だ、使わせてもらう」との便り、嬉しくなって喜んだという。

また、いろいろな方面から依頼され、特に奈良東大寺の鵜川明俊副管長、西大寺の松本英道理事長からも是非お願いしたいとの連絡を受け感激。今までに約二千個は作ったと言われる作品も、手元にはほとんどなく、すべて贈呈されています。

簡単に言えば、石材に文字を刻むことですが、特殊な文字を使うため、字体を探すのがまず大変、デザインを決め大きさを合わし、半紙に文字を書き、それを裏返す、逆になった文字を石に書いていく、あとは彫刻刀での二刀彫り、小さい三ミリ角からセンチ角の大きさものまであり、力がいるすきるとかけてしまうため細かな仕事と根気のいる作業です。

材料の石材は"寿山"と呼ばれる中国産。買う会社から購入しているそうで、三百円ほどの物から数千円の物まであり「金のかかる道楽でしょ…」と苦笑い。そばにいた奥さんに感謝を使われる一面もうかがえました。

なお、このような石印は、美術愛好者に多く使われていますが、県内には技術者がほとんどなく、県外に注文をしているそうで、野田さんは貴重な趣味をお持ちです。

こんな並々ならぬ活躍をお祈り申し上げます。

係から

町内には、いろいろな趣味を持たれ、楽しく過されているかたが多くおられることと思います。係までご一報下さい。取材にうかがいます。

第二十回「法の日」週間

十月一日～七日

十月一日は「法の日」です。わたくし達一人ひとりが、法に正しく裏まれるよう法によって保障されています。国民一人ひとりが法を守ることによって、社会秩序が無持されているといって過言ではありません。

しかしながら、我が国の現状を見ると必ずしも満足すべきものは言えません。たとえば結婚、就職にからむ差別、子供や老人に対する虐待、騒音、悪臭などによる公害問題などをはじめ隣近所との争いごとなどが、ひん発しております。これらの問題は、お互いに廉法をはじめ法を尊重し、守らなければならないという考え方が、十分に徹底していないために発生しているものと思われます。

わたくし達の日常生活は、秩序しみや、法を尊重し、お互いの権利を守り義務を履行することによって、明るく住みよい社会の建設に務めましょう。

みなさんが、人権侵害を受けて、どの様に解決すればよいかわからない場合は、近くの人権擁護委員さんにご相談下さい。相談は無料で秘密は固く守ります。

当町の人権擁護委員さんはつぎの方々です。

小川文一郎氏（浜浦）
電話八―〇六〇七
山口　勇氏（二見）
電話九―〇九二八

行政相談は渡辺さんへ

こんなときは

役所に対する苦情や相談、意見があるが、どうも関係のある役所には申し出にくい。どこへ申し出たらよいかわからないという方は、行政相談委員さんに申し出ください。相談は無料で秘密は厳守されます。

こんなものを

役所の仕事にはいろいろありますが、行政相談で扱うのは、国の仕事をはじめ、国鉄、公団などのように、国から特別の監督を受けている法人の仕事、あるいは、県や市町村などの仕事のうちで、国から任せられたり、補助金を受けたりして、行なっている仕事についての苦情なのです。

ただし、捜査に着手している刑事事件、裁判中のものや判決のあったもの、私的な争いごと、紛争問題となっているものなどは取り扱いません。

このようにして

相談は、直接口頭でされることをおすすめしますが、簡単なものは、手紙、電話でも結構です。

当町の行政相談員さんはつぎの方です。お気軽にご相談下さい。

渡辺定夫氏（小中浦）
電話　〇一〇〇一八

心障者に職場を

雇用奨励金が支給されます

八幡浜公共職業安定所では、九月を心身障害者雇用促進月間として、雇用の促進に取り組んでいます。

働く意欲のある心身障害者に、広く就職の機会を開くことは、社会全体に要請される問題であります。この機会に地域社会の理解とともに、雇用主のみなさんには、障害者にあわせた仕事の設計など雇用の促進に、配慮いただきますようお願いします。

なお、職業安定所の紹介により雇用した場合、雇用奨励金支給（月額一万四千円…十二カ月）、職場適応訓練委託費（月額一万三千円…六カ月～十二カ月支給）などの雇用援護制度があります。

就職を希望される心身障害者のかたは、ご相談下さい。

連絡は
八幡浜市広瀬
八幡浜公共職業安定所
〇八九四二　二―四〇三三

第28回全国青年大会県予選

大池君（3位）全国大会へ

愛媛県青年団連合会、県教委、県市町村教委連合会共催の第二十八回全国青年大会県予選会が八月二十五日、二十六日の二日間、松山市総合内の県営陸上競技場を中心に、陸上競技だ七十二競技が行われました。

部予選を勝ち抜いた精鋭が、全国大会をめざし、熱戦が繰り広げられました。

本町からも陸上競技だ五競技に二十二名の選手が参加しましたが、男子の三段とび大池満也君（吉屋敷）が十三メートル〇一の記録で優勝、県代表として十一月八日から十一日まで、東京の国立競技場を中心に行われる全国大会に出場することになりました。

また、演劇部門が優秀賞に選ばれました。

人

昭和54年7月末現在
世帯数2,562戸（　0戸）

人口 8,972人（+17人）（男4,291人（+2人）女4,681人（+15人））

―お礼―

宮崎県延岡市下伊形町八の三にお住いの松本利民氏（仁田之浜出身）より二千円。

広報編集費用にとご寄附いただきました。

紙上より厚くお礼申上げますとともに、ご活躍をお祈り申し上げます。

えんむすび

昭和54年7月1日
7月31日

おくやみ

昭和54年7月1日
7月31日

お誕生おめでとう

よい子に育ってください

昭和54年7月1日
7月31日

自転車はカギと名前がよい見張

全国防犯運動
10月11日～20日

動物は"買う"ものではなく"飼う"ものです

9月20日～26日
動物愛護週間